



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	176,361	8.0	2,784	△5.7	3,383	9.2	2,090	2.9
2026年3月期第1四半期	163,310	5.2	2,953	△15.8	3,099	△31.0	2,030	△34.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,026百万円(△14.4%) 2026年3月期第1四半期 2,367百万円(△30.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	22.74	—
2026年3月期第1四半期	21.54	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	371,786	148,154	39.5
2026年3月期	385,109	152,428	39.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 146,828百万円 2026年3月期 151,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	345,000	3.5	8,500	3.3	8,500	△3.1	5,500	0.5	60.03
通期	740,000	3.0	26,000	6.2	26,500	0.6	16,000	19.5	174.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) (注) 、除外 1 社 (社名) (注)
(注) 詳細は、添付資料10ページ「連結の範囲または持分法適用の範囲の変更」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	94,350,134株	2026年3月期	94,350,134株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,699,500株	2026年3月期	2,331,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	91,926,859株	2026年3月期1Q	94,285,134株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢を巡る地政学的リスクやエネルギー・原材料価格の動向、金融資本市場の変動等の影響も懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界では、物価・人件費、医薬品・医療材料価格及び物流費等の上昇や人手不足を背景に、医療機関の経営環境は引き続き厳しい状況にあります。一方、令和8年度診療報酬改定において急性期病院への手厚い改定となったほか、機材仕入れ消費税の補てんや老朽病院の建て替えの補助等の議論も活発化し、設備投資回復の兆しが見えてまいりました。また、2040年を見据えた新たな地域医療構想のもと、地域の実情に応じた医療機能の再編・集約化や、持続可能で効率的な医療提供体制の構築が求められております。

このような状況の下、当社グループの業績は、売上高は堅調に推移するとともに、各事業の収益改善施策を進めた結果、概ね計画どおりに推移いたしました。また、中期経営計画「SHIP VISION 2030」の2年目として、「グループ経営資源の最適化によるポートフォリオ経営」を基本方針に、「新規事業創出」「再編統合」「成長領域の拡大」3つの重点施策を引き続き着実に推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は176,361百万円（前年同四半期連結累計期間比8.0%増）、営業利益は2,784百万円（前年同四半期連結累計期間比5.7%減）、経常利益は3,383百万円（前年同四半期連結累計期間比9.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,090百万円（前年同四半期連結累計期間比2.9%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、メーカー系において完成案件が前年同期に比べて少なかったものの、プロジェクト案件が順調に推移したこと等により、前年同期比では増収増益となりました。

この結果、売上高は26,659百万円（前年同四半期連結累計期間比11.9%増）、セグメント利益（営業利益）は467百万円（前年同四半期連結累計期間比0.4%増）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、新規SPD受託施設の稼働及び既存SPD施設における受託領域の拡大が堅調に推移したこと等により増収となりました。一方で、機器更新需要が前年同期比では少なかったことに加え、メーカーとの価格交渉の一部が翌四半期以降にずれ込んだこと等により減益となりました。

この結果、売上高は131,991百万円（前年同四半期連結累計期間比8.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1,088百万円（前年同四半期連結累計期間比7.7%減）となりました。

③ ライフケア事業

介護サービスにおきましては、物価上昇やサービス品質維持のための各種費用増加により、事業運営コストが上昇いたしました。また、食事提供サービスにおきましては、不採算施設の契約終了により前年同期比では減収となりました。一方で、完全調理済食品の導入が堅調に推移したこと等により増益となりました。

この結果、売上高は9,103百万円（前年同四半期連結累計期間比1.4%減）、セグメント利益（営業利益）は463百万円（前年同四半期連結累計期間比11.4%増）となりました。

④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、小規模なM&Aや新規出店の業績寄与等により増収となりました。一方で、6月の調剤報酬改定の影響に加え、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザをはじめとする感染症の流行が例年より低水準で推移したことから、既存店の処方箋枚数が減少し、減益となりました。

この結果、売上高は8,607百万円（前年同四半期連結累計期間比3.1%増）、セグメント利益（営業利益）は850百万円（前年同四半期連結累計期間比8.3%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は371,786百万円となり、前連結会計年度末と比べて13,322百万円減少いたしました。その主な要因は、「有価証券」が4,996百万円、「商品及び製品」が2,438百万円及び「電子記録債権」が1,625百万円増加した一方、「受取手形、売掛金及び契約資産」が20,776百万円、「現金及び預金」が2,813百万円減少したこと等によるものであります。

負債は223,632百万円となり、前連結会計年度末と比べて9,049百万円減少いたしました。その主な要因は、「電子記録債務」が913百万円増加した一方、「支払手形及び買掛金」が6,126百万円、「未払法人税等」が4,731百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は148,154百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,273百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により「利益剰余金」が2,090百万円増加した一方、配当金の支払により「利益剰余金」が5,521百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は39.5%（前連結会計年度末比0.3ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2026年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,566	77,752
受取手形、売掛金及び契約資産	140,000	119,223
電子記録債権	8,521	10,147
有価証券	-	4,996
商品及び製品	24,544	26,982
仕掛品	4,336	4,825
原材料及び貯蔵品	1,577	1,866
その他	11,076	11,904
貸倒引当金	△23	△26
流動資産合計	270,599	257,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,841	20,729
土地	17,951	17,894
賃貸不動産（純額）	6,509	6,395
その他（純額）	11,361	11,321
有形固定資産合計	56,663	56,340
無形固定資産		
のれん	6,706	6,556
その他	5,013	4,889
無形固定資産合計	11,720	11,445
投資その他の資産		
投資有価証券	27,690	27,936
長期貸付金	10,754	10,763
その他	13,488	13,508
貸倒引当金	△5,808	△5,881
投資その他の資産合計	46,125	46,327
固定資産合計	114,510	114,113
資産合計	385,109	371,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	127,939	121,813
電子記録債務	36,700	37,614
短期借入金	1,333	1,368
未払法人税等	6,046	1,314
賞与引当金	3,324	3,392
その他	20,569	21,681
流動負債合計	195,914	187,185
固定負債		
長期借入金	25,606	25,172
退職給付に係る負債	3,427	3,405
資産除去債務	1,208	1,213
その他	6,524	6,655
固定負債合計	36,767	36,446
負債合計	232,681	223,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	19,417	19,417
利益剰余金	116,758	113,327
自己株式	△5,049	△5,823
株主資本合計	146,679	142,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,468	4,409
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△185	△182
退職給付に係る調整累計額	105	124
その他の包括利益累計額合計	4,391	4,353
非支配株主持分	1,357	1,326
純資産合計	152,428	148,154
負債純資産合計	385,109	371,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	163,310	176,361
売上原価	149,577	162,718
売上総利益	13,733	13,643
販売費及び一般管理費	10,779	10,859
営業利益	2,953	2,784
営業外収益		
受取利息	55	71
受取配当金	135	139
持分法による投資利益	144	299
為替差益	-	70
その他	173	148
営業外収益合計	508	730
営業外費用		
支払利息	112	100
為替差損	219	-
貸倒引当金繰入額	-	15
その他	30	15
営業外費用合計	362	130
経常利益	3,099	3,383
特別利益		
固定資産売却益	8	1
抱合せ株式消滅差益	3	-
その他	0	-
特別利益合計	12	1
特別損失		
固定資産除却損	18	27
その他	0	0
特別損失合計	18	27
税金等調整前四半期純利益	3,094	3,357
法人税、住民税及び事業税	1,073	1,114
法人税等調整額	44	187
法人税等合計	1,117	1,301
四半期純利益	1,976	2,055
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△54	△34
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,030	2,090

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,976	2,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	507	△56
為替換算調整勘定	△91	22
退職給付に係る調整額	△6	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△11
その他の包括利益合計	391	△28
四半期包括利益	2,367	2,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,461	2,052
非支配株主に係る四半期包括利益	△94	△25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	23,834	121,896	9,234	8,346	163,310	—	163,310
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	436	409	26	31	904	△904	—
計	24,271	122,306	9,260	8,377	164,215	△904	163,310
セグメント利益	466	1,178	415	928	2,989	△35	2,953

(注) 1. セグメント利益の調整額△35百万円には、セグメント間取引消去△14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△26百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	26,659	131,991	9,103	8,607	176,361	—	176,361
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	592	204	27	37	863	△863	—
計	27,252	132,196	9,130	8,644	177,224	△863	176,361
セグメント利益	467	1,088	463	850	2,870	△86	2,784

(注) 1. セグメント利益の調整額△86百万円には、セグメント間取引消去△31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△54百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2026年6月5日の取締役会決議に基づき、自己株式368,300株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において「自己株式」が774百万円増加しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,311百万円	1,375百万円
のれんの償却額	406百万円	388百万円

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、新たに株式を取得したことにより(株)MYNSを連結の範囲に含めております。

また、連結子会社であるSHIPヘルスケアファーマシー(株)は、同じく連結子会社であったデルフィア(株)を吸収合併しております。